



城北中学校だより

令和6年12月24日 第7号 文責（末次）

## 城北の五心（明るい心、感謝の心、正しい心、思いやりの心、美しい心）

学校教育目標「**将来の夢の実現に向け、高い志と意欲をもって学び続ける生徒の育成**」

本日、2学期の終業式を行い、令和6年の城北中学校の学校生活を締めくくりました。保護者、地域の皆様の、様々な場面でのご協力とご支援、本当にありがとうございました。

### 「親子ふれ合い活動」（11月30日）

### 城北中創立 60 周年記念の参加賞もありました

11月30日（土）、「親子ふれ合い活動」が行われました。PTAの学年部会の皆さんが主体となって、活動の内容や準備、当日の運営について事前打合せと準備をしてくださり、この日を迎えました。今回は、SAGA2024 全障スポで開催された競技である「ボッチャ」を各学年ごとにプレーしました。生徒の皆さんは、事前に体育の授業で学習して当日を迎え、ユニバーサルデザインの視点で生み出されたこのスポーツを、皆で楽しむことができました。また、城北中創立60周年を記念し、3年2組の帆秋みちるさんによる、ポップで明るいデザインで彩られた特別製のパッケージ菓子缶とペンが参加賞として配られました。



PTA 役員の皆様をはじめ、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### 令和7年度新入生説明会(11月22日)

11月22日に小学6年生の皆さんを迎え、新入生説明会を行いました。佐賀市教育委員会からの、部活動の地域展開についての説明や、城北中学校についての説明、北辰タイムの体験を実施しました。また、入学への不安や心配が少しでも減るようにと、3年生の生徒会本部役員の皆さんによる学校生活の紹介も行われました。

### 生徒会役員交代

11月8日、2年生の生徒会長選挙に向けた立ち会い演説会並びに投票が実施されました。どの立候補者、責任者とも、真剣に公約や決意を述べ、城北中学校生徒の役に立ちたいという思いがしっかり伝わってきました。選挙期間中は、朝のあいさつ運動など、各クラスの協力する姿もみられました。

12月10日は、現3年生の生徒会による1年間の活動を振り返る活動報告会が行われ、本部、各専門委員会より1年間の取組と総括が報告されました。どの委員会も説明資料をプロジェクターで示しながら分かりやすく伝えられており、全校生徒も皆、真剣に受け止めて聞き入っていました。



現3年役員と新2年役員で一緒にあいさつ

毎日の学校生活を更に充実させるものや、学校行事を生徒主体で取り組み、素晴らしい成果につなげたことなど、どの委員会の活動も本当に大事な内容だったと実感することができました。牛乳パントリーの管理やメディアセンターの受付、朝昼の放送など、毎日取り組み続けてくれた姿勢に対し、生徒会の一員として活動を支えた全校生徒の皆さん全員の拍手でねぎらいました。

その後、選挙で全校生徒によって選ばれた新生徒会長小川登夢さんをはじめとする、2年生の新生徒会役員の任命式が行われました。緊張しながらもしっかり取り組もうとする決意がみなぎる表情で、それぞれ任命書を受け取りました。

現3年生の生徒会が取り組んだ活動の成果を引き継ぎ、生かしながら、また新たなメンバーによる主体的な活動を見守り応援したいと思います。



3年生役員が、活動の説明しながら一緒に水やりをして2年生役員にバトンタッチ

### 街頭募金活動(11月7日、12月)

3年生生徒会役員が能登半島復興支援のための街頭募金活動に取り組みました。生活や社会に目を向け、これからの社会に必要な判断や行動を身に付けながら、中学生でもできることを実現してきた生徒会の皆さんによる社会貢献の活動でした。地域の方々が中学生を心から応援してくださっていることを実感した、この活動についての生徒会副会長3年池田蒼唯さんの報告をご紹介します。



平日の夕方、帰宅ラッシュよりも少し早い時間ということもあり「人が来るのかな…」「お金、集まるかな…」と不安に思っていた。実際に活動してみると、自分たちの近くを通るほとんどの歩行者の人が募金をして下さったり、わざわざ自転車を止めて来て下さったり、目の前の会社の事務所からお仕事中にも関わらず、外に出てきて募金して下さい方が何名もいらっしゃる、「頑張って！」と声を掛けて下さったり、笑顔で手を振って下さったりと、嬉しいことばかりだった。城北中学生も募金してくれた。このお金で少しでも笑顔になる人が増えることを心から願っている。



### 日本の財政を考えよう(12月6日)

財務省の財政教育プログラムによる授業が、3年生各クラスの社会の時間に実施されました。事前に税や財政の基礎知識を学び、当日はゲストティーチャーとして財務局の職員の皆様に来校していただきました。現在の国の予算を把握し、財務大臣の視点でどのように使ったらよいのかをグループワークで協議することを通して、経済や財政に関する社会問題は他人事ではなく自ら考えなくてはならない問題だという理解をする学習でした。生徒の皆さんは、真剣に考え、グループでまとめた考えを発表したり、その発表に意見や質問をしたりするなど積極的に授業を受けていました。

